

ASEAN+3 防災協力の推進(日本の貢献)

目標: 災害に強い社会作り—予防面に焦点をあてて—

<背景>

- ◎ 自然災害が頻発するアジア地域では、自然災害が「持続可能な開発」を妨げ、経済・社会発展を阻害。
- ◎ 特に都市部では人口の集中により、被害リスクがさらに増大する恐れ。
- ◎ 自然災害への対応については、災害後の緊急援助や復旧・復興対策とともに、災害リスクを低減するため、開発計画に防災の視点を取り入れる、各コミュニティの防災力を向上させるなどの予防措置が重要。
- ◎ 我が国は阪神・淡路大震災や短時間の集中強雨などの都市災害により培った知見、技術を有しており、阪神・淡路大震災では、災害対応における地域コミュニティの役割の重要性を再認識。
- ◎ 日本は、都市・コミュニティにおける防災能力の向上については、これまでも、各地域の実情に即して相手国とともに手作りでこれを支援してきた実績を有する。
- ◎ 以上を踏まえ、これまでの取組みを更に推進するため、予防面での都市・コミュニティにおける防災でイニシアティブを開始し、最終的にはASEAN+3において災害に強い社会作りを目指す。

- ◆ 日本は、「ASEAN+3都市・コミュニティにおける防災能力向上に関する国際会議の開催」を提案
(2010年度後半:日本)

<期待される成果> 有識者による都市・コミュニティにおける防災能力の向上に関する共同研究の実施と提言

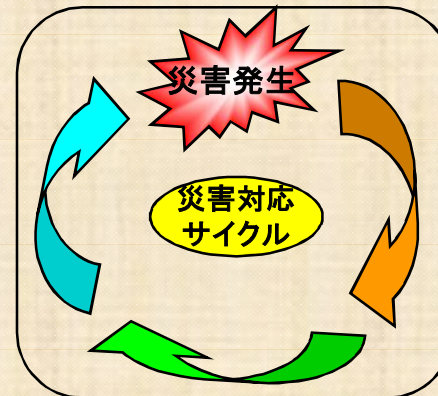
<将来の方向性> 予防面の取組から総合的防災協力へ



日本がASEAN+3において焦点を当てる分野
→災害予防・事前対策

- ① 様々な予防技術の提供(耐震化、洪水対策、衛星観測等)
- ② 防災文化の普及・啓発支援(地域社会の防災意識の向上と能力強化)
- ③ 災害予防のための人材育成
- ④ 早期警戒システムの構築

総合的防災協力



災害応急対策

- ① 国際緊急援助活動
- ② 緊急援助物資の供与

災害復旧・復興対策

- ① 復興計画の策定支援
- ② 復興開発に必要な資金の供与